

西米良村橋梁長寿命化修繕計画（案）



平成24年3月

西米良村 産業建設課

1 長寿命化修繕計画の目的

1.1 背景

西米良村産業建設課が管理する橋梁は、現在 64 橋あり、このうち 15m 以上の橋梁が 29 橋、15m 未満の橋梁が 35 橋ある。

全管理橋梁 64 橋のうち、橋齢が 30 年を越えるものが 69%（15m 以上は 73%、15 未満は 65%）を占める。したがって、**20 年後には橋齢 50 年を越える橋梁の割合が 69%**になる。

橋梁の耐用年数は一般的に、50~60 年と言われていることから、今後 10~20 年間に架替えなければならない橋梁が集中することが予測される。

架替えには多額の費用を要することや、通行止めを余儀なくされる場合もあり、適切な維持管理によって橋梁の長寿命化を図ることで、**経費の縮減とサービスの維持**が求められている。

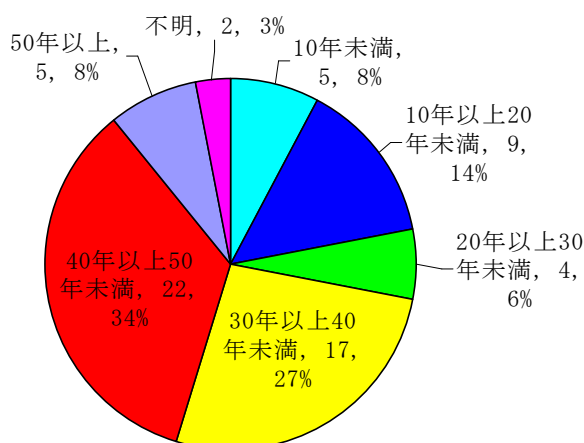


図-1. 橋齢別管理橋梁割合（全体）

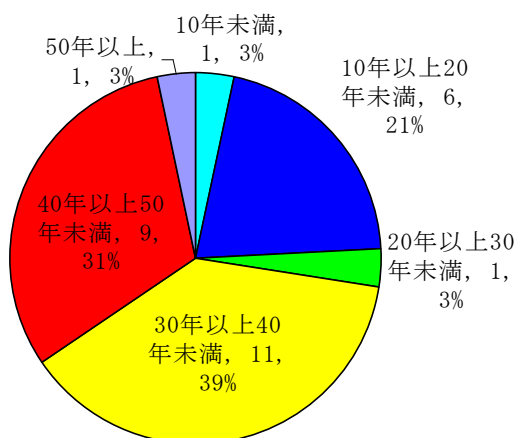


図-2. 橋齢別管理橋梁割合（15m 以上）

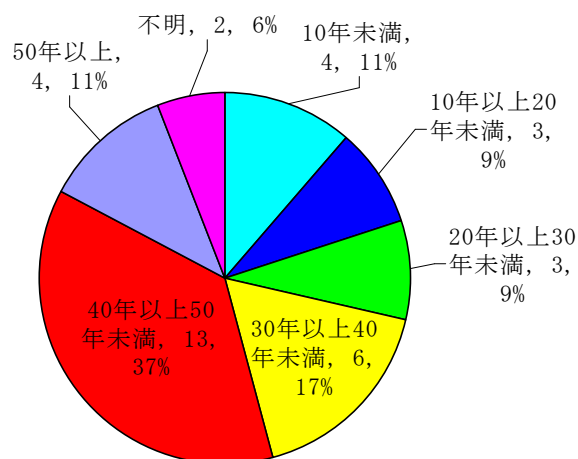


図-3. 橋齢別管理橋梁割合（15m 未満）

1.2 目的

したがって、長寿命化修繕計画においては、以下の4項目を目的に計画を策定する。

・ 管理体系の確立と健全度の把握

【効果】

管理する橋梁の点検頻度や点検方法などを明確に定め、各橋梁の健全度を把握することにより、長寿命化修繕計画における基礎データを得るとともに、早期に対策することが可能となる。

・ 対症療法的な対応から計画的な予防保全への転換

【効果】

損傷が顕在化してから対策をする対症療法では、交通規制など一時的なサービス低下につながる。場合によっては、一時的に応急処置を行い、詳細調査後に補強対策を行うなど、2度手間となることもある。

計画的な予防保全的手法を採ることにより、**補修工費の縮減とサービス維持**につながるものと考えられる。

・ 維持補修工事の中長期的な計画による予算の平準化

【効果】

劣化予測に基づいた各橋梁の中長期的な補修計画を立てることにより、**予算の平準化**を計る。

・ 費用対効果の高い維持管理手法の確立

【効果】

損傷が進行した状態では補修工事単価は高くなる傾向にあり、損傷が浅い状態では補修効果（健全度の向上）があまり得られないことが考えられるため、**損傷度によって補修のタイミングを計る**ことでライフサイクルコストの低減と長寿命化に繋がる。

2 長寿命化修繕計画の対象橋梁

修繕計画の対象橋梁は橋長 2m以上の 64 橋とする。

表－1 長寿命化修繕計画対象橋梁

No	橋梁 番号	路線名称	橋梁名称	カナ名称	橋長	径間数	下部工 基数	最大支 間長	幅員	大型車交通量	架設年次	バス路線	迂回路	橋種	材料種
1	1	竹原線	一致橋	イチパン	65	2	3	32.5	7.3	木材運搬車等	2007	○		ボステン中空床版橋	PC
2	2	竹原線	春之瀬橋	ハルノセハシ	2.4	1		2.4	15.5		2003			ボッスカルバート	RC
3	3	竹原線	大王5号橋	タ`イオウゴ`ウキョウ	17.5	1	2	17.5	8.3		1997			ボステンT桁橋	PC
4	4	竹原線	大王4号橋	タ`イオウヨンゴ`ウキョウ	60	2	3	30	8.2	木材運搬等	1999			ボステンT桁橋	PC
5	5	竹原線	大王3号橋	タ`イオウサンゴ`ウキョウ	45	2	3	22.5	8.8	木材運搬等	2000			ボステンT桁橋	PC
6	6	竹原線	大王2号橋	タ`イオウニコ`ウキョウ	85	3	4	33	8.4	木材運搬等	2001			ボステンT桁橋	PC
7	7	竹原線	大王6号橋	タ`イオウロクゴ`ウキョウ	7.2	1		7.2	8.7	木材運搬等	2002			ラーメン橋	RC
8	8	竹原線	大王1号橋	タ`イオウイチゴ`ウキョウ	34	1	2	34	8.4	木材運搬等	2002			ボステンT桁橋	PC
9	9	横野古川線	下谷橋	シモタニハシ	14.5	1	2	14.5	4.2	木材運搬等	1963			鋼H桁橋	鋼
10	10	横野古川線	亀谷橋	カメタニハシ	29.2	2	3	14.6	4.3	木材運搬等	1963			RCT桁橋	RC
11	11	横野古川線	古川橋	フルカワハシ	54	3	4	24	4	木材運搬等	1963			鋼I桁橋	鋼
12	12	村所2号線	桐原橋	キリハラハシ	3.5	1		3.5	7		1972	○		RC床版橋	RC
13	13	村所2号線	双子橋	フタゴ`ハシ	10.75	1		10.75	8.2		1994	○		ブレテン中空床版橋	PC
14	14	上米良線	上米良橋	カミメラハシ	51	2	3	25.5	5.7	コミュニティバス	1968	○		鋼I桁橋	鋼
15	15	上米良線	植田橋	ウエタ`ハシ	6.2	1		6.2	4.8		1972	○		RC床版橋	RC
16	16	上米良線	とどろ橋	トド`ロハシ	5	1		5	4.8		1973	○		RC床版橋	RC
17	17	上米良線	上米良校橋	カミメラウハシ	51.8	1	2	51.8	2.6		1964			吊橋	木
18	18	上米良線	市房橋	イチフサハシ	5.2	1		5.2	4.6		1985	○		RC床版橋	RC
19	19	元米良線	元米良橋	モトメラハシ	45	1	2	45	5.2	土木運搬車等	1979	○		鋼I桁橋	鋼
20	20	桐原線	東桐橋	ヒガ`シキリハシ	3.1	1		3.1	3.3		1972		無し	RC床版橋	RC
21	21	桐原線	西桐橋	ニシキリハシ	3.5	1		3.5	3.9		1972		無し	RC床版橋	RC
22	22	下鶴線	上鈴原橋	カミスズ`ハラハシ	5	1		5	4.7		1977			RC床版橋	RC
23	23	下鶴線	下鶴1号橋	シモヅ`ルイチゴ`ウキョウ	2.4	1		2.4	6.7		1988			ボッスカルバート	RC
24	24	下鶴線	下鶴2号橋	シモヅ`ルニコ`ウキョウ	2	1		2	4.5		1988			ボッスカルバート	RC
25	25	下鶴線	小川内橋	オガ`ワウチハシ	19.7	1	2	19.7	4.8	コミュニティバス	1977	○		鋼H桁橋	鋼
26	26	野地線	藤木橋	フジ`キハシ	7.1	1		7.1	4.4		1966			RCT桁橋	RC
27	27	野地線	野地橋	ノジ`ハシ	14.8	1	2	14.8	4.4		1966			RCT桁橋	RC
28	28	野地線	山之口橋	ヤマノクチハシ	9.5	1		9.5	4.5		1967			RCT桁橋	RC
29	29	小川公営住宅線	榎ノ下橋	エノシタハシ	21	1	2	21	3		1977		無し	鋼H桁橋	鋼
30	30	津賀瀬線	樽浦橋	タ`ルウラハシ	14.5	1	2	14.5	7.7	木材運搬車等	1995			鋼I桁橋	鋼
31	31	二畝之谷1号線	向橋	ムコウハシ	6	1		6	4.6		1966			RC床版橋	RC
32	32	吉村線	吉村橋	ヨシムラハシ	7.5	1		7.5	4		1966		無し	RC床版橋	RC

No	橋梁 番号	路線名称	橋梁名称	カナ名称	橋長	径間数	下部工 基数	最大支 間長	幅員	大型車交通量	架設年次	バス路線	迂回路	橋種	材料種
33	33	下相見線	相見橋	ソウミハシ	2.3	1		2.3	3.6		1966		無し	ボッスカルバート	RC
34	34	鷹之巣線	鷹之巣橋	タカノスハシ	74.1	1	2	74.1	2		1962			吊橋	木
35	35	吹野線	寺ノ谷橋	テラノタニハシ	5.8	1		5.8	4.1		1972			RC床版橋	RC
36	36	横谷線	横谷橋	ヨコタニハシ	4.5	1		4.5	6.6		1967			RC床版橋	RC
37	37	二畝之谷2号線	二畝の谷橋	ニウネノタニハシ	7	1		7	5.6		1966		無し	RC床版橋	RC
38	38	二畝之谷3号線	向橋	ムコウハシ	8	1		8	3.8		1966		無し	RC床版橋	RC
39	39	山瀬線	山瀬橋	ヤマセハシ	8	1		8	8.1		1977			RC床版橋	RC
40	40	助八重線	助八重橋	スケハ`エハシ	10	1		10	4		2004		無し	鋼H桁橋	鋼
41	41	鶴瀬線	松之本橋	マツノモトハシ	30	1	2	30	5.2		1985		無し	ボステン中空床版橋	PC
42	42	狭上線	中之菰橋	ナカノヤブ`ハシ	15	1	2	15	6.9	木材運搬車等	1976		無し	鋼H桁橋	鋼
43	43	鮎川原線	鮎川原橋	アユカワハラハシ	22	1	2	22	3.7		1975		無し	鋼H桁橋	鋼
44	44	山中線	内中橋	ウチナカハシ	10	1		10	4.8		1943		無し	RCT桁橋	RC
45	45	山中線	高原橋	タカハラハシ	2	1		2	4.1		1943		無し	RC床版橋	RC
46	46	山中線	山中2号橋	ヤマナカニコ`ウキョウ	3.9	1		3.9	3.7		1943		無し	ボッスカルバート	RC
47	47	山中線	山中3号橋	ヤマナカサンゴ`ウキョウ	6.6	1		6.6	4.1		1943		無し	RC床版橋	RC
48	48	深瀬線	深瀬橋	フカセハシ	25	1	2	25	3.7		1977		無し	鋼H桁橋	鋼
49	49	深瀬線	深瀬2号橋	フカセニコ`ウキョウ	9	1		9	4		2003		無し	鋼H桁橋	鋼
50	50	八重公民館2号線	八重橋	ヤエハシ	20	1	2	20	4.7		1967		無し	鋼H桁橋	鋼
51	51	鉾山谷古川線	1号橋	イチゴ`ウキョウ	16.2	3	4	5.4	4.5	木材運搬車等	1972			RC床版橋	RC
52	52	鉾山谷古川線	1-2号橋	イチニコ`ウキョウ	25.2	1	2	25.2	4.5	木材運搬車等	1973			鋼H桁橋	鋼
53	53	鉾山谷古川線	2号橋	ニコ`ウキョウ	33.8	2	3	16.9	4.8	木材運搬車等	1975			鋼H桁橋	鋼
54	54	鉾山谷古川線	3号橋	サンゴ`ウキョウ	139	9	10	17.5	4.7	木材運搬車等	1976			鋼H桁橋	鋼
55	55	鉾山谷古川線	鉾山谷橋	カサヤマタニハシ	33.6	1	2	33.6	7.3	木材運搬車等	1978			鋼H桁橋	鋼
56	56	鉾山谷古川線	徳松橋	トクマツハシ	13	1		13	5.8		1980			RCT桁橋	RC
57	58	一番之久保線	竹之尾橋	タケノオハシ	6.4	1		6.4	4.2		1978			RC床版橋	RC
58	59	一番之久保線	竹之尾2号橋	タケノオニコ`ウキョウ	6.8	1		6.8	11.7		2001			ボッスカルバート	RC
59	60	縄瀬線	山中橋	ヤマナカハシ	10.5	1		10.5	4.8		1973		無し	鋼H桁橋	鋼
60	61	竹之元谷線	吐合橋	ハキアイハシ	21.5	1	2	21.5	4.1	木材運搬車等	1973		無し	鋼H桁橋	鋼
61	62	八重公民館1号線	山瀬橋	ヤマセハシ	11	1		11	6.4		2005		無し	ブレテン中空床版橋	PC
62	63	浜川線	浜川1号橋	ハマカワイチゴ`ウキョウ	2.6	1		2.6	7.15		不明			ボッスカルバート	RC
63	64	浜川線	浜川2号橋	ハマカワニコ`ウキョウ	2.6	1		2.6	6.95		不明			ボッスカルバート	RC
64	99	赤保後線	井戸内橋	イド`ウチハシ	17	1	2	17	7.3		1964			RCT桁橋	RC

3 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本方針

3.1 健全度の把握

5.3.1 点検方法

点検方法は、簡易点検を基本とするが、橋梁規模が小さく損傷・劣化による影響が小さい橋梁に対しては、道路パトロールによる日常的な路面管理とする。

簡易点検は、「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）；国土交通省国土技術政策総合研究所」に準じて行う。

1. 目的

道路橋に関する基礎データ収集要領（案）（以下「本要領（案）」という。）は、著しい劣化の有無など道路橋の健全度に着目した調査時点の状況についての概略をできるだけ簡易に把握することを目的とする。

2. 適用の範囲

本要領（案）は、できるだけ簡易に道路橋の健全度に関して概略が把握できることを意図し、一般的な構造形式の道路橋において、主要な部材のみに着目し、かつ損傷発生頻度が高い箇所や同じ部材の中でも劣化が先行的に進行する箇所のみに着目するなどにより省力化を図ったものである。

また、トラス・アーチ等の特殊な形式の橋梁については、本要領（案）を参考にそれぞれの橋梁形式に応じて調査方法の詳細を決定する必要がある。

3. 調査項目

道路橋の損傷を把握する調査項目は、下記の１２項目とする。

- ①鋼部材における腐食状況
- ②鋼部材における亀裂の有無
- ③鋼部材におけるボルトの脱落の有無
- ④鋼部材における破断の有無
- ⑤コンクリート橋におけるひび割れ・漏水・遊離石灰の発生状況
- ⑥コンクリート橋における鉄筋露出の有無
- ⑦コンクリート橋における抜け落ちの有無
- ⑧床版のひび割れの発生状況
- ⑨プレストレストコンクリートにおけるPCケーブルの定着部の損傷の有無
- ⑩橋梁の路面凹凸の有無
- ⑪支承の機能障害の有無
- ⑫下部工の変状の有無

4. 調査方法

調査項目の損傷の評価（状況把握）にあたっては「損傷評価の手引き」を活用し、評価する。なお、調査にあたっては以下に留意する。

- ①目視によることを基本とする。
- ②桁端部や支承部およびその近傍の部材は、直近の橋台や橋脚からできるだけ近接して調査する。
- ③近接が著しく困難な調査箇所は、遠望目視と周辺の部材等の状況から推定する。

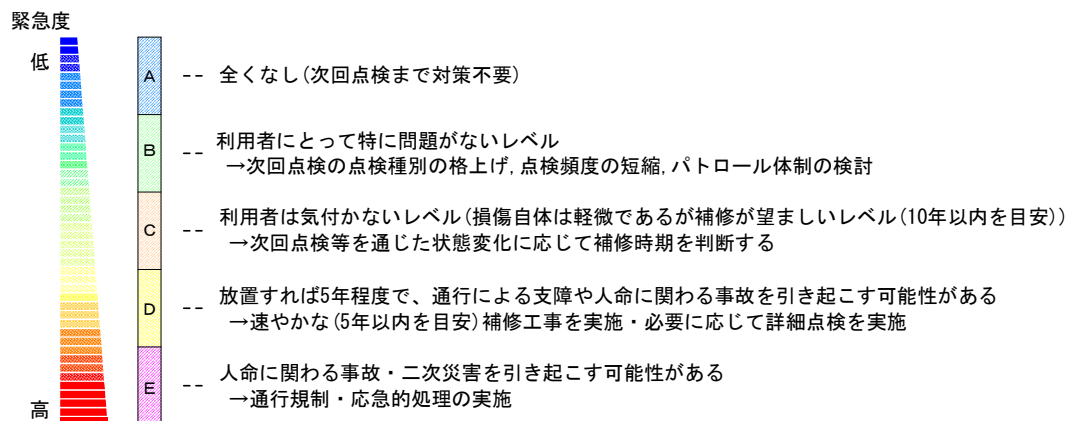
なお、本要領（案）による調査において、火災痕などの特異な変状や供用の安全性や第三者被害が懸念されるような異常を確認した場合には、別途、点検や詳細調査が実施されるよう適切な対応を行うことが必要である。

～「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）」から抜粋～

5.3.2 健全度の把握

簡易点検の結果は、ひびわれ状況や腐食状況などから健全度を 5 段階で設定する。

健全度	損傷度の分類
A	症状・要因・変状なし
B	軽微な変状はあるが損傷が不明な程度
C	軽度な症状・変状あり
D	重度な症状・変状あり
E	危機管理体制(通行止め)を要する損傷



3.2 管理水準の設定

路線の重要度や、損失の影響、構造性を考慮して、橋梁の重要度を以下の 3 つに分類する。

重要度区分Ⅰー以下の条件に該当する橋梁（ボックスカルバートを除く）

- ・ 木材運搬など基盤産業にとって欠かせないルート上の橋
- ・ 通学路線上の橋
- ・ 集落が孤立する恐れのある道路に架けられた橋

重要度区分ⅡーⅠ、Ⅲの条件に該当しない橋

重要度区分Ⅲーボックスカルバート

または、以下の条件をすべて満足する橋梁

- ・ 迂回路がある橋
- ・ 橋長 10m 未満の橋

管理水準は、重要度区分に応じて設定する。

表 3.2.1 管理水準の設定

	I	II	III
点検方法	簡易点検 (遠望目視)		パトロール 通報対応
通行規制レベル	一時的な通行規制容認		長期的な 通行規制容認
点検頻度	5 年サイクル		—
補修・対策のタイミング	健全度 C～D		健全度 E

- ・ 通行規制レベル

「一時的な通行規制」とは補修工事期間の 1 ～ 3 ヶ月程度で、「長期的な通行規制」とは問題が発見されてから調査～工事に至る 1 ～ 3 年程度を想定する。

- ・ 補修・対策のタイミング

補修・対策は健全度に応じて実施することとする。

対策区分 C、D は、供用には問題無いが、補修が望ましいと判断される健全度レベルの橋梁に対して採られる対策である。

対策区分 E は、供用することが望ましい状態ではなく、大規模な補修や架替を実施する必要があると判断される健全度レベルの橋梁に対して採られる対策である。

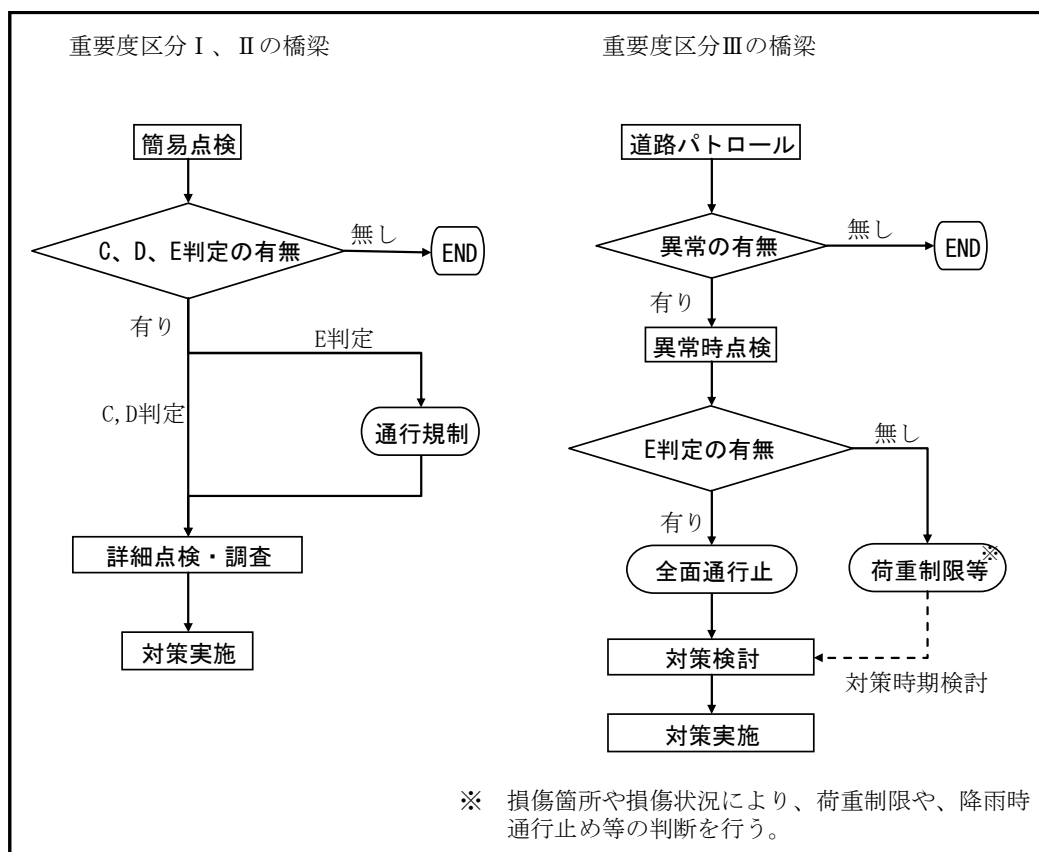
表 3. 2. 2 管理橋梁一覧表（重要度区分付加）

	路線名称	橋梁名称	重要度 区分	橋長	道路等級	構造形式	バス路線	迂回路	備 考
							コミュニティバス含む	有無	
1	竹原線	一致橋	I	65	1級村道	その他	○	有	木材運搬
2	竹原線	春之瀬橋	Ⅲ	24	1級村道	ボックスカルバート	－	有	－
3	竹原線	大玉5号橋	I	17.5	1級村道	その他	－	有	木材運搬
4	竹原線	大玉4号橋	I	60	1級村道	その他	－	有	木材運搬
5	竹原線	大玉3号橋	I	45	1級村道	その他	－	有	木材運搬
6	竹原線	大玉2号橋	I	85	1級村道	その他	－	有	木材運搬
7	竹原線	大玉6号橋	I	72	1級村道	その他	－	有	木材運搬
8	竹原線	大玉1号橋	I	34	1級村道	その他	－	有	木材運搬
9	横野古川線	下谷橋	Ⅱ	14.5	1級村道	その他	－	有	－
10	横野古川線	亀谷橋	Ⅱ	29.2	1級村道	その他	－	有	－
11	横野古川線	古川橋	I	54	1級村道	その他	－	有	木材運搬
12	村所2号線	桐原橋	I	3.5	1級村道	その他	○	有	通学路
13	村所2号線	双子橋	I	10.7	1級村道	その他	○	有	通学路
14	上米良線	上米良橋	Ⅱ	51	2級村道	その他	○	有	－
15	上米良線	樋田橋	Ⅱ	6.2	2級村道	その他	○	有	－
16	上米良線	とどろ橋	Ⅱ	5	2級村道	その他	○	有	－
17	上米良線	上米良校橋	Ⅱ	51.8	2級村道	木吊橋	－	有	－
18	上米良線	市房橋	Ⅱ	5.2	2級村道	その他	○	有	－
19	元米良線	元米良橋	Ⅱ	45	2級村道	その他	○	有	－
20	桐原線	東桐橋	Ⅱ	3.1	2級村道	その他	－	無	－
21	桐原線	西桐橋	Ⅱ	3.5	2級村道	その他	－	無	－
22	下鶴線	上節原橋	Ⅱ	5	2級村道	その他	－	有	－
23	下鶴線	下鶴1号橋	Ⅲ	2.4	2級村道	ボックスカルバート	－	有	－
24	下鶴線	下鶴2号橋	Ⅲ	2	2級村道	ボックスカルバート	－	有	－
25	下鶴線	小川内橋	Ⅱ	19.7	2級村道	その他	○	有	－
26	野地線	藤木橋	Ⅱ	7.1	2級村道	その他	－	有	－
27	野地線	野地橋	Ⅱ	14.8	2級村道	その他	－	有	－
28	野地線	山之口橋	Ⅱ	9.5	2級村道	その他	－	有	－
29	小川公営住宅線	樋ノ下橋	Ⅱ	21	2級村道	その他	－	無	－
30	津賀瀬線	榎浦橋	Ⅱ	14.5	2級村道	その他	－	有	－
31	二畝之谷1号線	向橋	Ⅲ	6	その他	その他	－	有	－
32	吉村線	吉村橋	Ⅲ	7.5	その他	その他	－	有	－
33	下相見線	相見橋	Ⅲ	2.3	その他	ボックスカルバート	－	無	－
34	鷹之巣線	鷹之巣橋	Ⅱ	74.1	その他	木吊橋	－	有	－
35	吹野線	寺ノ谷橋	Ⅲ	5.8	その他	その他	－	有	－
36	横谷線	横谷橋	Ⅲ	4.5	その他	その他	－	有	－
37	二畝之谷2号線	二畝之谷橋	Ⅱ	7	その他	その他	－	無	－
38	二畝之谷3号線	向橋	Ⅱ	8	その他	その他	－	無	－
39	山瀬線	山瀬橋	Ⅲ	8	その他	その他	－	有	－
40	助八重線	助八重橋	Ⅱ	10	その他	その他	－	無	－
41	鶴瀬線	松之本橋	I	30	その他	その他	－	無(集落有)	－
42	殊上線	中之菰橋	I	15	その他	その他	－	無(集落有)	－
43	鮎川原線	鮎川原橋	Ⅱ	22	その他	その他	－	無	－
44	山中線	内中線	Ⅱ	10	その他	その他	－	無	－
45	山中線	高原線	Ⅱ	2	その他	その他	－	無	－
46	山中線	山中2号橋	Ⅲ	3.9	その他	ボックスカルバート	－	無	－
47	山中線	山中3号橋	Ⅱ	6.6	その他	その他	－	無	－
48	深瀬線	深瀬橋	Ⅱ	25	その他	その他	－	無	－
49	深瀬線	深瀬2号橋	Ⅱ	9	その他	その他	－	無	－
50	八重公民館2号線	八重橋	I	20	その他	その他	－	無(集落有)	－
51	鮎山谷古川線	1号橋	Ⅱ	16.2	その他	その他	－	有	－
52	鮎山谷古川線	1-2号橋	Ⅱ	25.2	その他	その他	－	有	－
53	鮎山谷古川線	2号橋	Ⅱ	33.8	その他	その他	－	有	－
54	鮎山谷古川線	3号橋	Ⅱ	139	その他	その他	－	有	－
55	鮎山谷古川線	鮎山谷橋	Ⅱ	33.6	その他	その他	－	有	－
56	鮎山谷古川線	徳松橋	Ⅱ	13	その他	その他	－	有	－
58	一番之久保線	竹之尾橋	Ⅲ	6.4	その他	その他	－	有	－
59	一番之久保線	竹之尾2号橋	Ⅲ	6.8	その他	ボックスカルバート	－	有	－
60	横瀬線	山中橋	I	10.5	その他	その他	－	無(集落有)	－
61	竹之元谷線	吐合橋	Ⅱ	21.5	その他	その他	－	無	－
62	八重公民館1号線	山瀬橋	I	11	その他	その他	－	無(集落有)	－
63	浜川線	浜川1号橋	Ⅲ	2.6	その他	ボックスカルバート	－	有	－
64	浜川線	浜川2号橋	Ⅲ	2.6	その他	ボックスカルバート	－	有	－
99	赤保後線	井戸内橋	Ⅱ	17	その他	その他	－	有	－

3.3 日常的な維持管理に関する基本方針

村内全域においてパトロールを定期的（巡視可能なサイクル）に行い、主に高欄や伸縮装置、舗装などの走行の安全性に係る部分の異常が無いか確認する。

また、村民からの道路や橋梁の異常についての通報等の受け入れ態勢を強化する。
異常が見られた場合は、速やかに対策を検討する。



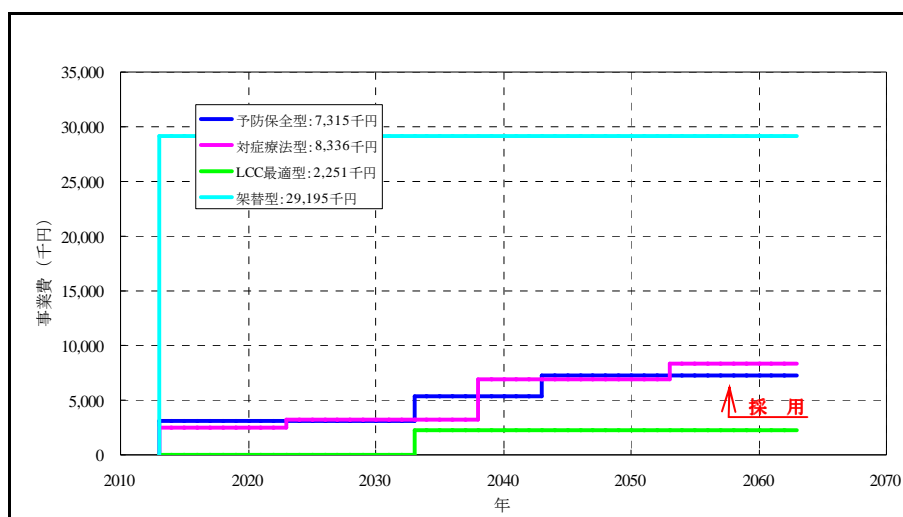
4 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

4.1 健全度レベルと補修時期

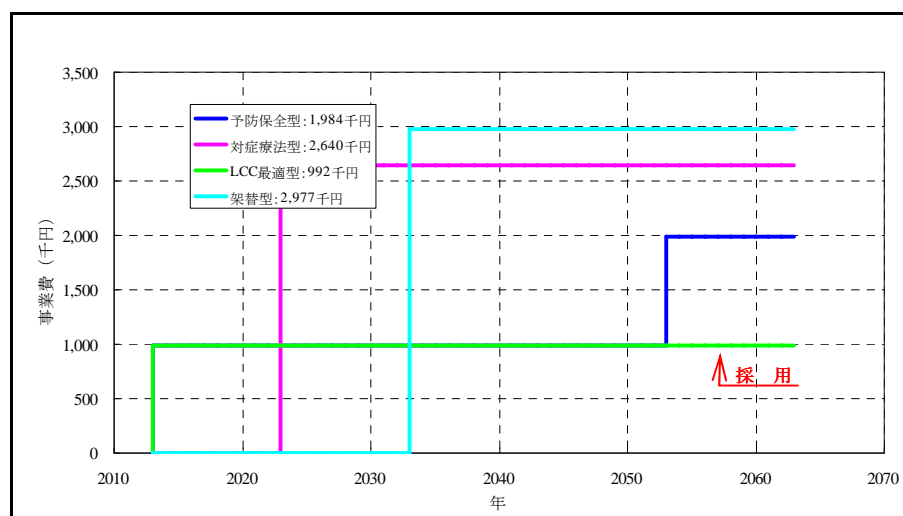
健全度レベル（損傷度）によって、補修工費が変動するため、健全度レベル C になってから補修を行う場合（以降予防保全型）と、レベル D になってから補修を行う場合（以降対症療法型）のライフサイクルコスト比較を行った。

その結果、すべての橋梁が予防保全型が経済的となったため、健全度レベル C で補修を行う「予防保全型」を基本とする。

また、今後 50 年のライフサイクルコストが最小となる補修時期を検討した（以降 LCC 最適型）。LCC 最適型は、道路の使用性を無視しているため、長期的な通行規制を容認できる重要度区分Ⅲの橋梁についてのみ適用する。



例 1. 下谷橋（重要度Ⅱ）のライフサイクルコスト



例 2. 下鶴 2 号橋（重要度Ⅲ）のライフサイクルコスト

5 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期または架替時期

5.1 優先順位の設定

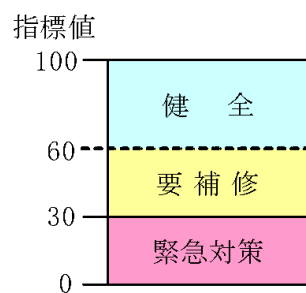
予算の平準化を図るため、優先順位を設定し、計画的に補修を行う計画とする。

優先順位は、橋梁の重要度区分Ⅰ～Ⅲと健全度レベルを考慮して以下のように定める。

		重要度区分		
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総合評価	0～30	1	3	7
	30～60	2	5	8
	60～100	4	6	9

※ 総合評価について

部材毎に設定した健全度 A～E を基に、橋梁単位の健全度を算出したもの。



5.2 対象橋梁ごとの修繕内容・時期または架替時期

次頁以降には各橋の修繕内容・時期または架替時期を示す。

表 5.2.1 橋梁別計画一覧表

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対策の内容・時期									
							H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
一致橋	1級	竹原線	65	2007	6	H20										
春之瀬橋	1級	竹原線	2.4	2003	10	H23										
大王5号橋	1級	竹原線	17.5	1997	16	H20										
大王4号橋	1級	竹原線	60	1999	14	H20										
大王3号橋	1級	竹原線	45	2000	13	H20										
大王2号橋	1級	竹原線	85	2001	12	H20										
大王6号橋	1級	竹原線	7.2	2002	11	H21										
大王1号橋	1級	竹原線	34	2002	11	H20										
下谷橋	1級	横野・古川線	14.5	1963	50	H20	←→ 主部材:当て棒補強 等									
亀谷橋	1級	横野・古川線	29.2	1963	50	H20										
古川橋	1級	横野・古川線	54	1963	50	H20					←→ 橋台:撥水等 等					
桐原橋	1級	村所2号線	3.5	1900	113	H21										
双子橋	1級	村所2号線	10.75	1994	19	H21										
上米良橋	2級	上米良線	51	1968	45	H20	←→ 主部材:塗装 等							←→ 床版:橋面防水工等 等		
植田橋	2級	上米良線	6.2	1972	41	H21										
とどろ橋	2級	上米良線	5	1973	40	H21										
上米良校橋	2級	上米良線	51.8	1964	49	H20	←→ 主部材:当て棒補強 等									
市房橋	2級	上米良線	5.2	1985	28	H21			←→ 主部材:断面修復+表面被覆 等							
元米良橋	2級	元米良線	45	1979	34	H20	←→		←→ 主部材:塗装 等							
東桐橋	2級	桐原線	3.1	1900	113	H23										
西桐橋	2級	桐原線	3.5	1900	113	H23										
上鈴原橋	2級	下鶴線	5	1900	113	H21										
下鶴1号橋	2級	下鶴線	2.4	1900	113	H23										
下鶴2号橋	2級	下鶴線	2	1900	113	H23	←→ 主部材:断面修復+表面被覆									
小川内橋	2級	下鶴線	19.7	1977	36	H20				←→ 主部材:塗装 等						
藤木橋	2級	野地線	7.1	1966	47	H21										
野地橋	2級	野地線	14.8	1966	47	H20										
山之口橋	2級	野地線	9.5	1967	46	H21										
横ノ下橋	2級	小川公営住宅線	21	1977	36	H20			←→ 主部材:塗装 等							
樽浦橋	2級	津賀瀬線	14.5	1995	18	H20										
向橋	その他	二畝之谷1号線	6	1966	47	H21										
吉村橋	その他	吉村線	7.5	1971	42	H21										
相見橋	その他	下相見線	2.3	1900	113	H23										
鷹之巣橋	その他	鷹之巣線	74.1	1962	51	H20					←→ 主部材:当て棒補強 等					
寺ノ谷橋	その他	吹野線	5.8	1900	113	H21										
横谷橋	その他	横谷線	4.5	1967	46	H21										
二畝の谷橋	その他	二畝之谷2号線	7	1900	113	H21										
向橋	その他	二畝之谷3号線	8	1900	113	H21										

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対策の内容・時期									
							H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
山瀬橋	その他	山瀬線	8	1900	113	H21										
助八重橋	その他	助八重線	10	1900	113	H23										
松之本橋	その他	鶴瀬線	30	1985	28	H20										
中之敷橋	その他	狹上線	15	1976	37	H20										
鮎川原橋	その他	鮎川原線	22	1975	38	H20										
内中橋	その他	山中線	10	1900	113	H21										
高原橋	その他	山中線	2	1900	113	H23										
山中2号橋	その他	山中線	3.9	1900	113	H23										
山中3号橋	その他	山中線	6.6	1900	113	H21										
深瀬橋	その他	深瀬線	25	1977	36	H20										
深瀬2号橋	その他	深瀬線	9	2003	10	H21										
八重橋	その他	八重公民館2号線	20	1967	46	H20										
1号橋	その他	鉢山谷・古川線	16.2	1972	41	H20										
1-2号橋	その他	鉢山谷・古川線	25.2	1973	40	H20										
2号橋	その他	鉢山谷・古川線	33.8	1975	38	H20										
3号橋	その他	鉢山谷・古川線	139	1976	37	H20										
鉢山谷橋	その他	鉢山谷・古川線	33.6	1978	35	H20										
徳松橋	その他	鉢山谷・古川線	13	1980	33	H21										
竹之尾橋	その他	一番之久保線	6.4	1900	113	H21										
竹之尾2号橋	その他	一番之久保線	6.8	2001	12	H23										
山中橋	その他	縄瀬線	10.5	1973	40	H21										
吐合橋	その他	竹之元谷線	21.5	1973	40	H20										
山瀬橋	その他	八重公民館1号線	11	2005	8	H21										
浜川1号橋	その他	浜川線	2.6	1900	113	H23										
浜川2号橋	その他	浜川線	2.6	1900	113	H23										
井戸内橋	その他	赤保後線	17	1964	49	H20										
調査・設計 (百万円)							5	5	5	4	4	4	5	5	4	4
橋梁定期点検 (百万円)							3					2				
修 繕 費 (百万円)							15	15	15	14	14	14	15	15	14	13
合 計 (百万円)							23	20	20	18	18	20	20	20	18	17

←→ 補修等の対策・実施時期
←→ 調査・設計の実施時期
簡易点検の実施時期

6 長寿命化修繕計画による効果

6.1 補修計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する64橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の架替型が32億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が5億円となり、コスト削減効果は27億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。

